

## 《高卒求人、今年の半数に満たず》

平成22年3月高校・中学新卒者の求人申込状況等（平成21年7月末現在）について

平成22年3月に卒業する高校生・中学生等を対象とした求人の受理が、平成21年6月22日から全国のハローワークで開始されました。

岐阜県内の平成21年7月末現在の求人受理状況は、次のとおりです。

今年度は、景気の悪化に伴い、各企業からの求人が大幅に減少していることを踏まえ、岐阜県知事、岐阜労働局長、岐阜県教育委員会教育長の三者連名により、経済5団体及び県内企業に対し求人の確保・拡大等について要請を行い、引き続きハローワーク等から求人の提出等をお願いしているところです。

### 【高校新卒者】

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1 求人数は、3,491人で前年同期に比べ51.3%減少（第1表の「求人数」）<br/>2年連続で前年同期を下回り、統計のある平成4年度以降最低の状況となった（第2表）。</li><li>2 求職者数は、4,119人で前年同期に比べ11.0%減少（第1表の「求職者数」）。</li><li>3 求人倍率は、0.85倍で前年同期に比べ0.70ポイント低下（第1表の「求人倍率」）<br/>2年連続で前年同期を下回り、平成4年度以降3番目に低い状況となった（第2表）。</li></ol> |
|--|

7月末における県内ハローワークへの求人申込み状況は、ほとんどの産業で減少しており、特に、輸送用機械器具製造業、金属製品製造業、はん用機械器具製造業、プラスチック製品製造業等の製造業と卸売業・小売業、建設業で求人数が大きく減少したため、総数では平成4年度以降最低の状況となった。

一方、求職者数は、昨年度、前年同期を上回ったが、今年度は減少へと転じた。

詳細については次のとおりです。

#### 1 求人数について

##### (1) 求人数の推移

平成4年度の統計以来、年々減少していた求人数は、「IT不況」と言われる平成15年度に最低の求人数となったものの、翌年度以降、雇用情勢が徐々に良化し平成19年度まで求人数が増加していた。

昨年度は、原油等資源価格の高騰によるコストアップ、販売不振や先行き不透明な経済状況等を考慮し、求人数を抑え気味とした企業が多く求人数が減少した。

今年度は昨年秋頃からの景気の急激な悪化に伴い、求人数が最低であった平成15年度をさらに下回る求人数となった。

##### (2) 求人数減少の主な要因

景気の急激な悪化により厳しい状況が続く中で、在庫調整の進捗や経済対策の効果に加え、対外経済環境の改善により景気は持ち直しに向かうことが期待されているものの、世界的な金融危機の影響や世界景気の下振れが懸念されるなど景気の先行きが

不透明なことから、求人の見送り又は縮小等を行う企業が多いこと。

ほとんどの産業で求人数が大幅に減少している中、昨年度に全求人数7,174人のうち54.1%(3,878人)を占めていた製造業が、今年度は、全求人数3,491人のうち42.9%(1,498人)と減少した。

昨年度までは、求人数が増加していた医療・福祉(病院・老人ホームでの介護助手、医療事務、調理師等)でも、今年度は求人数が減少したこと。

### (3) 求人減少率の大きい主な産業

製造業	61.4%減の1,498人	
(製造業は、求人総数の42.9%)		
・輸送用機械器具製造業	60.0%減の386人	
・金属製品製造業	72.1%減の126人	
・はん用機械器具製造業	67.6%減の148人	
・プラスチック製品製造業	63.2%減の126人	
・繊維工業	59.7%減の79人	
卸売・小売業	53.1%減の	283人
・卸売業	52.2%減の	87人
・小売業	53.4%減の	196人
建設業	41.2%減の	366人
生活関連サービス業、娯楽業	26.3%減の	358人
医療、福祉	21.6%減の	432人
サービス業	78.2%減の	32人

## 2 求職者数について

(1) 就職を希望する生徒数は、平成14年度から平成19年度まで6年連続減少、昨年度は、前年同期を上回ったが、今年度は減少となった。

(2) 経済事情から就職を希望をする生徒がいる一方、7月以降企業から学校へ提出された求人に希望する求人がないこと等から、進学希望に切り換えた生徒もいる。

## 3 求人倍率について

(1) 2年連続で前年同期を下回り、今年度は、統計のある平成4年度以降平成14年度の0.68倍、平成15年度の0.70倍に次ぐ、3番目に低い求人倍率となった。

(2) 「IT不況」と言われた平成14年度、平成15年度当時は、最終的に1倍を超えた(第2表)が、今年度は、先行きの不透明感から、各企業は求人に慎重となっており、最終の求人倍率が1倍を超えない可能性があり、過去に例のない厳しい状況となることも予想される。

## 【中学新卒者】

- |   |
|---|
| 1 求人数は、30人で前年同期に比べ36.2%減少(第1表の「求人数」)        |
| 2 求職者数は、110人で前年同期に比べ13.4%増加(第1表の「求職者数」)     |
| 3 求人倍率は、0.27倍で前年同期に比べ0.21ポイント低下(第1表の「求人倍率」) |

## (参考)

### 1 高校生に対する就職支援策等

ハローワークでは、次の事業を積極的に展開し、一人でも多くの高校生が希望に応じた就職ができるよう支援をしている。

- ( 1 ) 県内全ハローワークに配置した高卒就職ジョブサポーターを活用し、学校訪問等による就職希望者に対する個別就職支援を実施する。
- ( 2 ) 合同企業説明会又は就職面接会等の開催を通じたマッチングの促進を図る。
- ( 3 ) 高校生の県内産業視察を実施し、職業・産業等の理解の促進を図る。  
県内産業視察・・・県内5ハローワークで実施
- ( 4 ) 高校生に対する就職ガイダンスを実施し、就職活動を始めるに当たっての十分な動機付け、情報提供、面接対策等の実践的な指導を行う。  
高校3年生に対する就職ガイダンス・・・7月から8月までに9回開催  
高校2年生に対する就職ガイダンス・・・1月から3月までに7回開催
- ( 5 ) 経済5団体及び県内企業に対して、岐阜県知事・岐阜労働局長・岐阜県教育委員会教育長の三者連名の要請文により、求人者の提出や求人数の拡大等について要請、さらに、各ハローワークは、事業所訪問等により、求人者の確保にまい進している。

## 2 中学生に対する就職支援

ハローワークが中学校と連携を取りながら個別相談等の就職支援を行っている。

## 3 求職者数は、学校又はハローワークの紹介により就職を希望する生徒の状況を取りまとめたものである。

## 4 平成22年3月高校・中学校新卒者の採用選考・内定開始期日は、厚生労働・文部科学両省において次のとおり定められている。

- ( 1 ) 高 校 平成21年9月16日以降
- ( 2 ) 中 学 平成22年1月1日以降

## 平成22年 3月新規学校卒業者の職業紹介状況

平成21年7月末現在

岐阜労働局職業安定課

項目 学校別	卒業予定者数			求職者数			求人数	就職者数				就職率 (%)	うち県内への就職者数				うち県外への就職者数			
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)		(人)	(人)	(人)	(人)		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
	計	男	女	計	男	女	計	計	男	女	ポイント	(人計)	(人男)	(人女)	構成比(%)	(人計)	(人男)	(人女)	構成比(%)	
中学	20,874	10,699	10,175	97	64	33	47	0	0	0	0.0	0	0	0	--	0	0	0	--	
	21,212	10,902	10,310	110	76	34	30	0	0	0	0.0	0	0	0	--	0	0	0	--	
	1.6	1.9	1.3	13.4	18.8	3.0	36.2	--	--	--	0.0	--	--	--	--	--	--	--	--	
高校	19,238	9,827	9,411	4,629	2,589	2,040	7,174	0	0	0	0.0	0	0	0	--	0	0	0	--	
	18,808	9,591	9,217	4,119	2,327	1,792	3,491	0	0	0	0.0	0	0	0	--	0	0	0	--	
	2.2	2.4	2.1	11.0	10.1	12.2	51.3	--	--	--	0.0	--	--	--	--	--	--	--	--	

項目 学校別	求人倍率 / (倍)	充足数				充足率 / (%)	うち県外からの充足数			
		(人)	(人)	(人)	(人)		(人)	(人)	(人)	(人)
		計	男	女	ポイント		計	男	女	充足率(%)
中学	0.48	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	
	0.27	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	
	0.21	--	--	--	0.0	--	--	--	0.0	
高校	1.55	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	
	0.85	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	
	0.70	--	--	--	0.0	--	--	--	0.0	

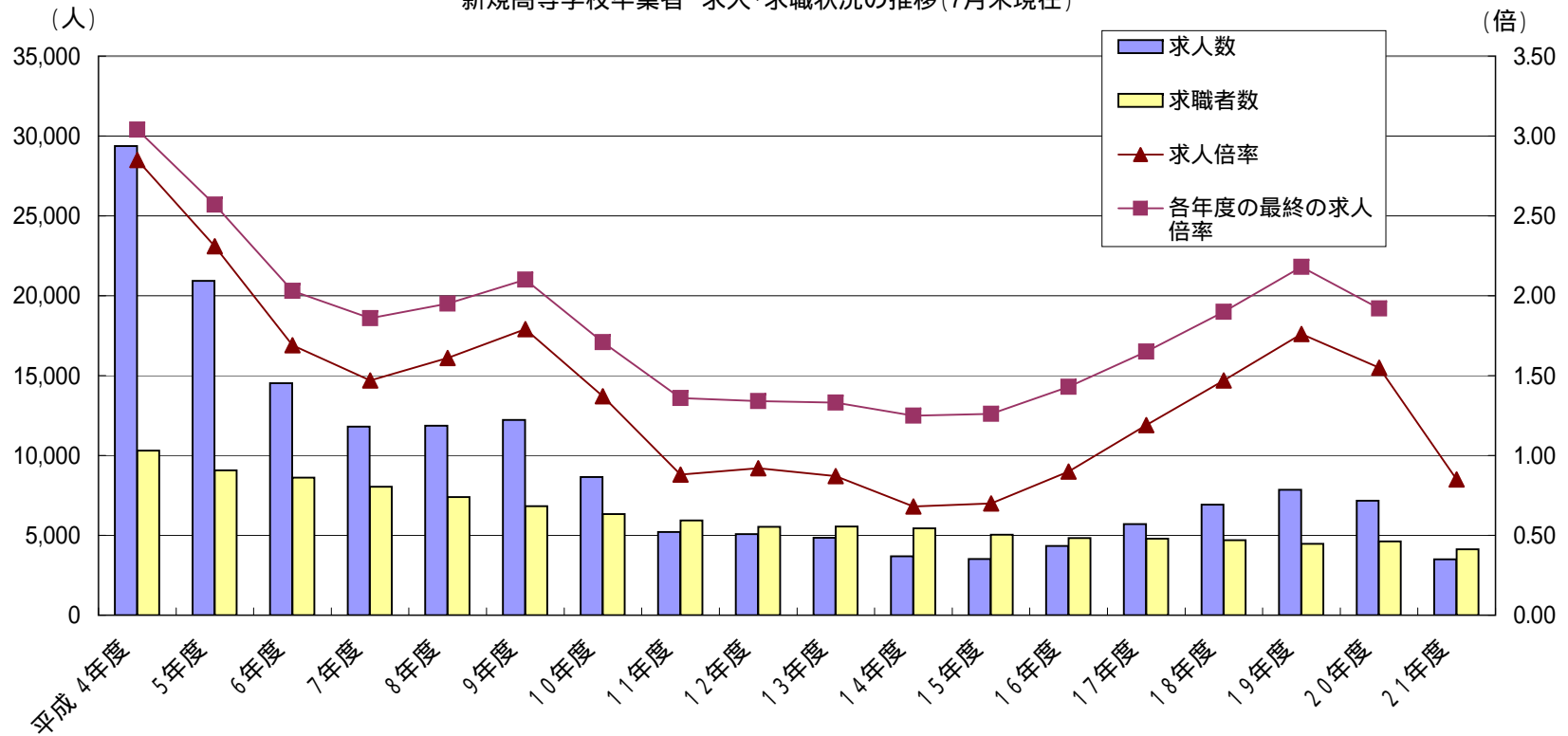
上 段：平成21年3月卒業分  
 中 段：平成22年3月卒業予定者分  
 下 段：対前年同月比 %  
 卒業予定者数は平成21年5月15日現在数  
 就職者数は平成22年3月末までは就職内定者数  
 就職率は平成22年3月末までは就職内定率

補足：男女別就職率(%) ( )内は前年同月値

中学	計	0.0	(0.0)	高校	計	0.0	(0.0)
	男	0.0	(0.0)		男	0.0	(0.0)
	女	0.0	(0.0)		女	0.0	(0.0)

(第2表)

新規高等学校卒業生 求人・求職状況の推移(7月末現在)



卒業年度	平成4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
求人数	29,370	20,940	14,525	11,815	11,872	12,222	8,657	5,213	5,078	4,850	3,682	3,508	4,341	5,712	6,913	7,860	7,174	3,491
求職者数	10,299	9,060	8,604	8,036	7,387	6,826	6,325	5,935	5,540	5,555	5,444	5,042	4,823	4,793	4,687	4,463	4,629	4,119
求人倍率	2.85	2.31	1.69	1.47	1.61	1.79	1.37	0.88	0.92	0.87	0.68	0.70	0.90	1.19	1.47	1.76	1.55	0.85

各年度の最終の求人倍率	3.04	2.57	2.03	1.86	1.95	2.10	1.71	1.36	1.34	1.33	1.25	1.26	1.43	1.65	1.90	2.18	1.92	
-------------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	--